



巨樹と語るう

石川県巨樹の会
副会長 間明弘光

巨樹との関わりは？

「巨樹」とって思いつくことは何でしょう？

「癒しの効果」

「景観の保全」

「大気の浄化」

「野鳥や昆虫の棲み家」

「歴史的・文化的価値」など

・・・いろいろあります。



巨樹との関わりは？



第30回

巨木と語ろう

- 一つ みどり豊かな自然植生に生きる巨樹を維持、繁茂させ、地球環境の保全に努めよう
- 一つ 今なお残る都市景観の一翼を形成している巨樹を未来に永く残し、共生していこう
- 一つ 風雪に耐えた巨樹の姿から生活史の一端を学び、広く発表していこう
- 一つ 叡智に育まれた長い伝統を継承する薫り高い美しい木の文化を広げ、発展させよう
- 一つ 生物多様性に富む地域の自然環境を代表する地域特有の巨樹の森を創ろう

第30回巨木を語ろう全国フォーラム石川・金沢大会

巨樹の定義

- 巨樹とは、
環境省が定めた
「地上から130cmの位置で幹周(幹の円周)が300cm以上の樹木を対象とする」
というのが一般的です

- 巨木林とは、
巨樹が複数生育する集団で、樹林・並木がある

この定義に基づくと石川県には約2,400本の巨樹・がありますが、適切な保存や十分な保護がなされていない場合がほとんどです。



巨樹の測り方

※巨樹を測る際に用意するもの

<計測関係>

- ・メジャー(巻尺)…5m以上のものを2本用意
- ・測量ポール…130cmの位置に印をつけておく
- ・もしもあれば樹高測定器

<記録関係>

- ・調査票…環境省が定めた様式に準ずる
- ・地図…巨樹の位置を記入するため
(2.5万分の1の地形図がよい)
- ・ボード…標高、樹種、幹周、所在地等を記載
して写真に記録する
(スケッチブック等でもよい)
- ・チョーク…ボードに記入したり、木にマーキング
するため
(マジックやマーカーでもよいが、
木にマーキングするのは不可)
- ・カメラ等…フィルム、記録メディア、電池の
充電等を忘れずに…
- ・野帳、筆記用具等

※環境省自然環境局 生物多様性センター発行の
「大きな木が待っている！」を参考にしています。

<その他>

- ・支持棒、高度計、GPS、方位磁石(コンパス)、
ポケット図鑑、勾配測定器(スラントルール)、
ビニール袋(大小色々)、無線機、双眼鏡、
油性ペン(ビニール袋にメモするため)、
鎌、ハサミ、ナイフ、帽子やヘルメット、
長袖シャツ、軍手、はき慣れた靴、雨具、
虫除けスプレー、救急用品、携帯用灰皿等



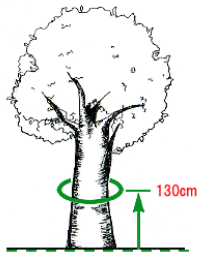
巨樹の測り方

「巨樹」とは、地上から130cmの高さで、幹周が300cm以上の木です
「巨樹」が群生していたり、広範囲に生えている場合には、「巨木林」と呼びます

【巨樹の測り方】

幹周は地上から130cmの高さを、センチメートル単位で測ります。
メジャーを幹に当てて計測された値が幹周となります。

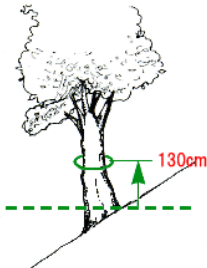
下の図のように、くぼみや空洞に関係なくメジャーの左右を引っ張り、ピンと張った状態で計測します。



【斜面にある木の測り方】

斜面に生えている木は、山側(高い方)で地上(根元)から130cmの高さで測ります。

斜面が急で谷側(低い方)に降りられないときは、山側から測量ポールで直径を測り、幹周を計算して下さい。

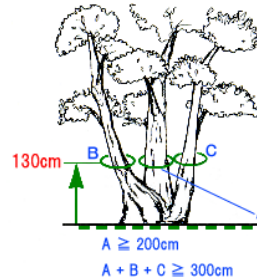


【株立ちの木の測り方】

130cmの高さで幹が複数に分かれていることがあります。
この場合は、次の条件を満たしている木が巨樹となります。

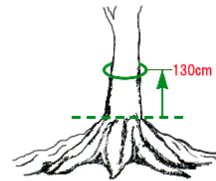
- ・一番太い幹(主幹)の幹周が200cm以上ある。
- ・それぞれの幹周の合計300cm以上ある。

このとき幹周は複数の幹の合計となりますが、主幹の大きさ、株立ち本数も計測します。



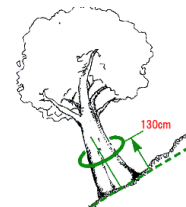
【根上がりの場合】

根が地面から上がっているときには、露出している根の上端から130cm上を測ります。



【斜面に生えている場合の計測は?】

幹の軸線を想定し、地表面に接したところから、幹の形状に沿って130cmのところまで幹周(軸線に対して垂直面)を測るようにします。



幹周りが3m以下でも巨樹の仲間
樹節を重ねても幹周りが3m以上にはならない
あるいは、育ちにくい樹種もあります。

●幹周が1m以上あると巨樹とするもの

クスノキ科	ニッケイ・ヤブニッケイ
ヤマグルマ科	イヌガシ
フサザクラ科	ヤマグルマ
マンサク科	フサザクラ
マメ科	マンサク・マルバマンサク
ミカン科	ネムノキ・ハナズオウ
モチノキ科	すべて
ツゲ科	イヌツゲ
ツツジ科	ツゲ
	アセビ・ネジキのように直立幹をもつもの

●幹周が2m以上あると巨樹とするもの

マツ科	カラマツ・ゴヨウマツ
ヒノキ科	コノテガシワ・ネズミサシ
ヤナギ科	オオバヤナギ・ケショウヤナギ
カバノキ科	シラカンバ
ブナ科	ウバメガシ
モクレン科	シキミ
ツバキ科	すべて
バラ科	エドヒガン系のサクラを除くサクラ属のすべて
トウダイグサ科	ユズリハ・シラキ・ナンキンハゼ・アブラギリ
ニガキ科	ニガキ・ニワウルシ
ウルシ科	ウルシ・ハゼノキ
モチノキ科	タマミズキ・アオハダ
ニシキギ科	マユミ・ビゼンマユミ・マサキ
クロウメモドキ科	ナツメ・ケンボナシ
シナノキ科	ヘラノキ・ボダイジュ
ミソハギ科	サルスベリ
ミズキ科	ミズキ・クマノミズキ
カキノキ科	すべて
エゴノキ科	すべて
ハイノキ科	ハイノキ・タンナサワフタギ
モクセイ科	ミミズバイ
スイカズラ科	アオダモ・ヒトツバタゴ
	サンゴジュ

石川県巨樹の会とは

初代会長の故 里見信生（金沢大学教授）が「豊かな緑づくりの一環として貴重な巨樹・老樹等の保存と、その環境整備並びに樹の文化等について普及活動を行う」ことを目的に、平成元年4月22日に設立された。

会員等数 148（個人131、団体12、購読5） 令和4年4月現在

会 長 高木政喜（特定非営利法人 石川県自然史センター 理事長）

刊行物

- ・石川の巨樹・巨木林（2008）
- ・改訂 石川の巨樹・巨木林ガイド（2017）
- ・日本巨樹見立番附（2017）

受賞歴

- ・平成9年 朝日森林文化賞
- ・平成12年 環境庁長官賞

第3回巨木を語ろう全国フォーラム加賀大会の開催

- ・開催期日 平成2年4月28日（土）・29日（日）
- ・開催会場 加賀市文化会館・加賀市中央公園・加賀市・金沢市
- ・主 催 石川県・加賀市・石川県巨樹の会
- ・大会内容 基調講演・パネリストディスカッション、探訪会A、Bコース実施

第30回巨木を語ろう全国フォーラム石川・金沢大会の開催

- ・開催期日 平成29年9月30日（土）～10月2日（月）
- ・開催会場 石川県文教会館・テルメ金沢・ほかに県下一円
- ・主 催 第30回巨木を語ろう全国フォーラム石川・金沢大会実行委員会
（一財）自治総合センター
- ・主 管 石川県巨樹の会
- ・大会内容 シンポジウム・交流会・巨樹探訪ツアー5コース等の実施

石川県巨樹の会の活動

◆保護活動

- ・ 県内に現存している巨樹・巨木林の調査を行い、その現状を把握
- ・ 天然記念物指定等の保護対策の提言
- ・ 病害等の診断や治療および提言、保護育成技術や知識の習得、普及



◆広報普及活動

- ・ 巨樹探訪会（年2回）
- ・ 講演会の開催、研修会、自然観察会等への講師派遣
- ・ 会報「巨樹いしかわ」の発行（年2回 2月, 8月）
- ・ 「いしかわ環境フェア」など各種行事への参加

巨樹の本数

巨樹・巨木林調査票

巨樹・巨木林調査票(新規報告)										
調査を行った方について	調査した日	年		月		日				
	調査者名									
	連絡先 ご住所・電話・mail	〒								
		TEL		E-mail						
	巨樹・巨木林データベースの ユーザ登録情報	ID								
		ニックネーム								
	新規ユーザ登録の 希望有無	①希望する ②希望しない		新規ユーザ登録で希望する ニックネーム						
	対象区分	①単木 ②樹林 ③並木								
	樹林・並木のうちの巨木本数	本								
	樹林・並木の通し番号	/								
	所在地	都道府県		市区郡町村						
		施設名			近くの目印となるもの					
	所有者	①国 ②都道府県 ③市町村 ④その他公有 ⑤社寺 ⑥個人 ⑦法人等 ⑧不明								
		所有者名:								
	樹種名(カカナ)	①樹種名() ②不明								
	健全度	①良好 ②一部枯損 ③病害虫 ④異常落葉 ⑤枯死寸前 ⑥枯死 ⑦その他()								
	測定値	幹周	単幹の場合	幹周				cm		
			株立ちの場合	主幹の幹周				cm		
幹周の合計						cm				
株立ちの本数						本				
		幹周の測定方法		①実測 ②目測						
樹高							m			
	樹高の測定方法		①実測 ②目測							
独特の呼称	①なし ②あり() ③不明									
解説板	①なし ②樹名板 ③解説板 ④石標 ⑤その他()									
場所の公表可否	①公表可能 ②公表不可 ③不明									
場所の公表不可の理由	①私有地のため ②その他()									
位置が分かる地図	(縮尺2万5千分の1程度の地図を貼り、巨樹の場所を赤で×印)									

必ずご記入ください

巨樹について

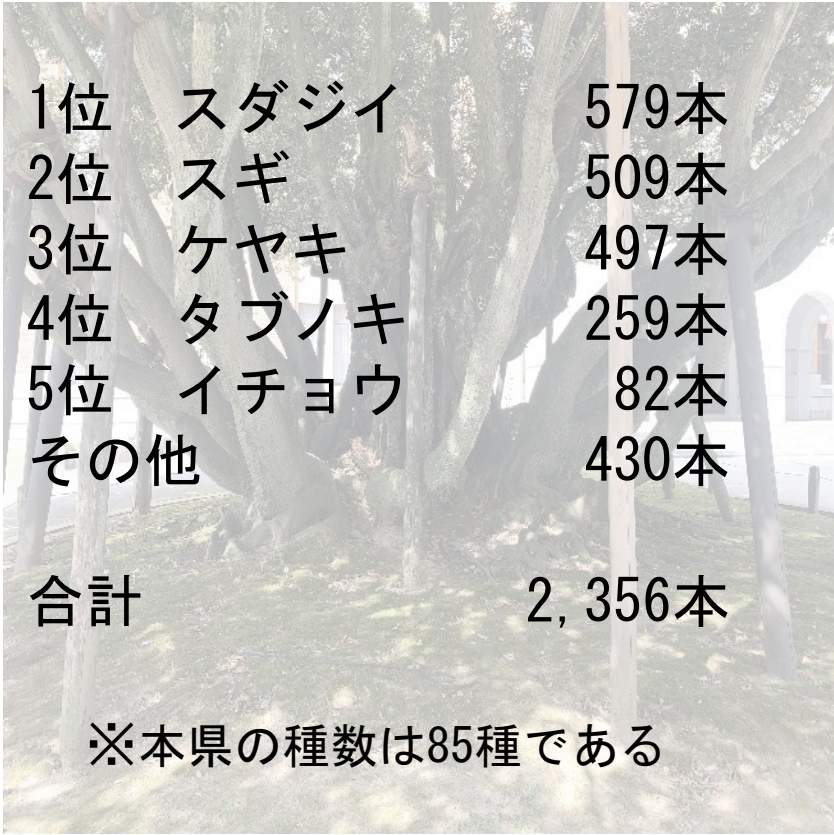
「巨樹・巨木林データベース」は、環境省の自然環境保全基礎調査(巨樹・巨木林調査)として、全国の巨樹・巨木林の調査結果を収集する調査です。

巨樹の全景や健康状態がわかる写真												
樹齢(推定)		A. 99年以下 B. 100~199年 C. 200~299年 D. 300年以上 E. 不明				樹齢の根拠		①推定 ②伝承 ③不明				
伝承の資料名(樹齢の情報源になった資料名)												
樹木の状況	欠損の有無(複数可)		①無 ②大枝欠損 ③小枝欠損 ④頭頂部幹折れ ⑤下部幹折れ ⑥空洞あり ⑦異常なコブあり ⑧その他 ⑨不明									
	欠損や枯死などの原因		①大風 ②落雷 ③積雪 ④病害虫 ⑤その他の自然災害 ⑥人為(剪定等) ⑦不明									
	欠損や枯死などが起きた年月日		年		月		日					
	動物(脊椎動物)の生息		①無 ②有 ③不明				生息する動物の種名					
	着生植物等		①無 ②有		植物の被度		①ほぼ全体 ②半分位 ③一部					
		着生植物の種類		aつる性 b寄生 c着生		着生植物の種名						
信仰対象等		①無 ②有(7社、祠等 1鳥居 1うめ縄) ③禁忌 ④祭事 ⑤不明										
故事・伝承		①無 ②有		伝承の内容								
保護制度・指定		①無 ②天然記念物(a国 b都道府県 c市町村) ③自然公園(a国立 b国定 c都道府県立) ④自然環境保全地区(a国 b都道府県) ⑤保安林・学習参考保護等 ⑥都市公園(a国 b都道府県 c市町村) ⑦風致地区・緑地保全地区 ⑧その他保護制度 名称() ⑨不明										
視認性		①遠方より確認できる ②ある程度の距離より確認できる ③付近まで来ないと確認できない										
GPSによる所在地の緯度・経度	緯度:		度		分		秒		経度:	度	分	秒
	緯度(10進法):								経度(10進法):			
	測地系		①世界(WGS84) ②旧日本(Tokyo) ③その他()									
コメント												

必ず項目が未記入の場合は、データベースに登録できなくなる可能性がありますのでご注意ください。
複数ある場合には、コピーしてご使用ください

巨樹の本数

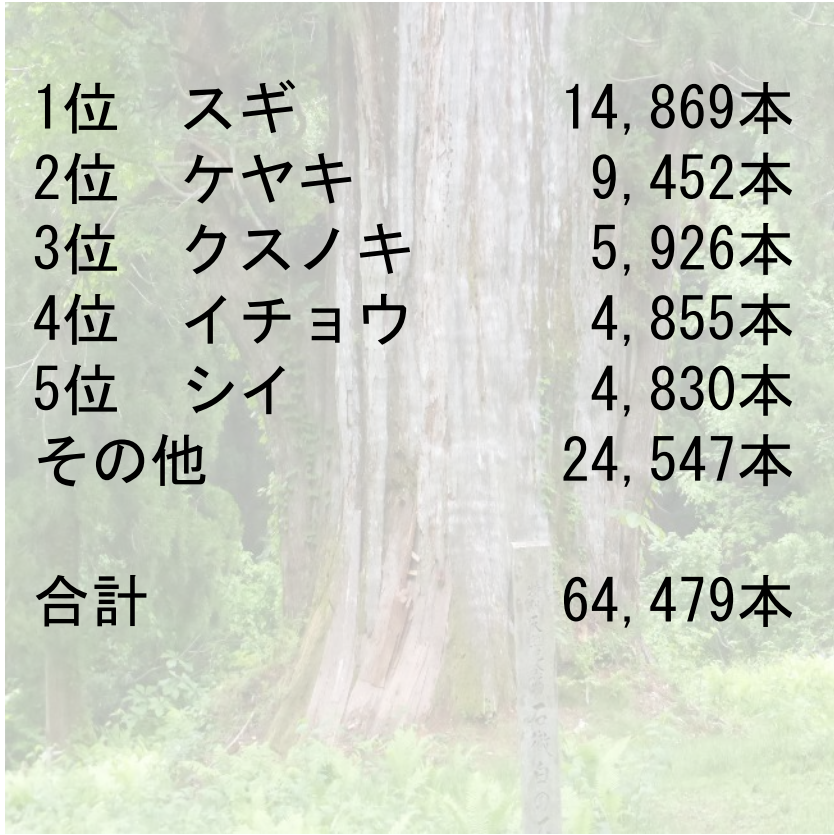
石川県 (2007年現在)



1位	スダジイ	579本
2位	スギ	509本
3位	ケヤキ	497本
4位	タブノキ	259本
5位	イチヨウ	82本
	その他	430本
合計		2,356本

※本県の種数は85種である

全国 (2000年現在)



1位	スギ	14,869本
2位	ケヤキ	9,452本
3位	クスノキ	5,926本
4位	イチヨウ	4,855本
5位	シイ	4,830本
	その他	24,547本
合計		64,479本

巨樹になる条件？

□自然環境に起因

- ・ 生育適地…土壌、土質、地形、斜面方位
- ・ 気象条件…気象害（台風、雪害、山火事）
- ・ 周辺環境…管理地、市街地、他の樹木が生育
- ・ 地理的条件…温暖、標高、奥地



□樹種に起因

- ・ 生長が早い…スギ、イチョウ、クスノキ、ナラ類
- ・ 単木でも生育可能…エノキ、ケヤキ、サクラ類、マツ類
- ・ 病虫獣害に強い…ヒノキ、シイ類

□その他

- ・ 宗教的価値
- ・ 文化的価値
- ・ 木材としての利用価値が低い
- ・ 国有地等で発見されにくい



巨樹の在りか

2008年石川県巨樹の会による調査では、下表のような結果となった

- ・ 巨樹・巨木林の約70%は、神社やお寺にある
- ・ 社叢林と呼ばれる神社やお寺が守ってきた樹林の存在
- ・ 何らかの理由で人々と関わってきた歴史がある
- ・ 単木の場合ご神木となっている場合が多い

神社	寺院	公共	個人	計
1400本	316本	313本	317本	2356本
60%	13%	13%	14%	100%

※公共：国有林、県有林、学校、公園
個人：私有林、屋敷林など



巨樹の在りか

一般的な植樹の古い記録



福岡県林業技術者連絡会 福島敏彦氏 提供

県内の巨樹紹介

石川県の天然記念物(樹木) 一覧 (国指定)

樹 木 名	所 在 地	指 定 年 月 日
栢 野 の 大 ス ギ	加賀市山中温泉栢野ト49	昭 和 3 年 11 月 30 日
御 仏 供 ス ギ	白山市下吉野	昭 和 13 年 8 月 8 日
八 幡 神 社 の 大 ス ギ	加賀市山中温泉菅谷ヘ114	昭 和 18 年 8 月 24 日
篠 原 の キ ン メ イ チ ク	加賀市篠原町	昭 和 2 年 4 月 8 日
松 月 寺 の サ ク ラ	金沢市寺町5-5-22	昭 和 18 年 8 月 24 日
堂 形 の シ イ ノ キ	金沢市広坂2-1	昭 和 18 年 8 月 24 日
太 田 の 大 ト チ ノ キ	白山市白峰	平 成 5 年 4 月 6 日
鹿 島 の 森	加賀市塩屋町	昭 和 13 年 8 月 8 日
気 多 神 社 社 叢	羽咋市寺家町7-1	昭 和 42 年 5 月 2 日
須 須 神 社 社 叢	珠洲市三崎町寺家ツ部	昭 和 50 年 6 月 26 日



平成29年



明治34年頃

県内の巨樹紹介



金沢市板ヶ谷町
八幡神社のスギ



金沢市広坂
堂形のシイノキ



県内の巨樹紹介



白山市市ノ瀬
こもちカツラ



輪島市門前
元祖アテ

県内の巨樹紹介

詳しくはこちらで紹介します

石川県巨樹の会ホームページ

<http://maggykei.la.coocan.jp/index.html>



金沢市内の巨樹紹介

保存樹・樹林

根拠法：都市の美観風致を維持するための樹木の保存に関する法律
(俗称：都市樹木保存法)

1. 保存樹（昭和54年度～）

健全でかつ樹容が美観上優れており、以下のいずれかに該当するもの

- ① 1.5mの高さにおいて幹周1.5m以上
- ② 樹高15m以上
- ③ 株立ちした樹木で高さ3m以上
- ④ はん登性樹木で枝葉面積30m²以上

2. 保存樹林（昭和58年度～）

- ① 存する土地の面積が500m²以上
- ② 生け垣をなす樹木集団が長さ30m以上

金沢市内の巨樹紹介



⑤②^{どうがた}堂形のシイノキ

国指定天然記念物 (スダジイ/ブナ科)

大 き さ (左) 幹周2581cm (515cm) 樹高11m
県 3 位
(右) 幹周1752cm (780cm) 樹高11m
県 4 位

所 在 地 金沢市広坂2丁目1-1 しいのき迎賓館前
見どころ 推定樹齢400年のシイノキは、旧石川県庁正面の左右にあって、門漂木となっている。この地域の代表的樹木である。前田利常がこの地に書院を設けていたときの庭園樹であったろうといわれている。



⑤③山崎山のケヤキ

特別名勝

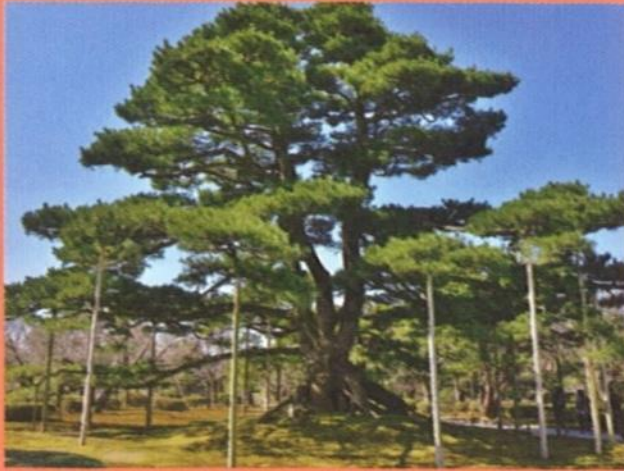
(ケヤキ/ニレ科) 6本

大 き さ 幹周330~440cm
樹高25~26m

所 在 地 金沢市兼六町1 兼六園

見どころ 兼六園の小立野口から入ると右側にある標高わずか9mの山を山崎山と呼んでいる。往古この辺りが山崎村であったことから名付けられた。秋には、ケヤキの巨樹をはじめヤマモミジやトチノキが色づき別名「紅葉山」と言われている。

金沢市内の巨樹紹介



⑤④根上りの松

特別名勝

(クロマツ／マツ科)

大 き さ 幹周386cm 樹高10m
枝張り18.0m

所 在 地 金沢市兼六町1 兼六園

見どころ 兼六園内の千歳台中央にある老松で、斎泰公お手植えの松とも称せられる。盛土で根を深く覆い、成長に従って土を取り除き、根を露出したと伝えられている。地上より2mのところでは大小40数本の根が絡み合うようになっている。



⑤⑥五葉松

特別名勝

(キタゴヨウ／マツ科)

大 き さ 幹周335cm 樹高11m
所 在 地 金沢市兼六町1 兼六園
見どころ 花見橋の近く、鶴鴒島の曲水を隔てて立っている。島の相生の松に対して、荒々しく枝を広げている。この種では県1位である。

金沢市内の巨樹紹介



⑤7 猿丸神社のケヤキ

市指定保存樹林 (ケヤキ／ニレ科)

大 き さ 幹周630cm 樹高20m

所 在 地 金沢市笠舞町3-23-15
猿丸神社

見どころ 平安時代に創建された古社で、近くを流れる犀川右岸の河岸段丘に位置する。最大の樹は境内の最左にあり、落雷などによる損傷は大きいものの堂々とした風格がある。境内には他にも4本のケヤキの巨樹がある。藩政時代から、「丑の刻まいり」で庶民にも知られた神社である。



⑤8 玉泉園の朝鮮五葉松

県指定名勝・玉泉園

(チョウセンゴヨウマツ／マツ科)

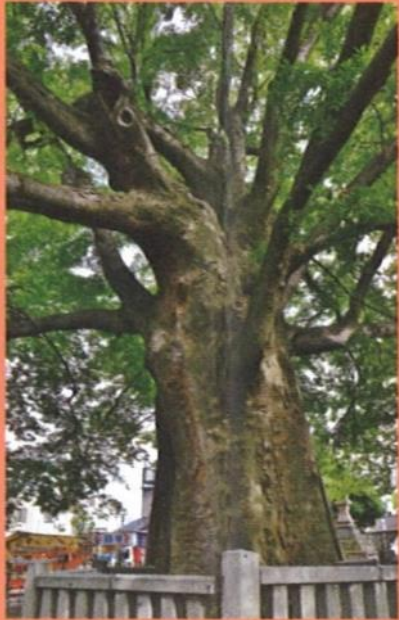
大 き さ 幹周200cm 樹高20m

所 在 地 金沢市小將町8-3

西田家庭園 玉泉園

見どころ 江戸時代初期に着工され江戸時代中期に完成した池泉回遊式庭園にあるチョウセンゴヨウマツは、樹齢300年と言われている。当家主人の脇田直賢が生まれ故郷の朝鮮を偲んで取り寄せ植えたものという。

金沢市内の巨樹紹介



⑤⑨ 神明宮の大ケヤキ

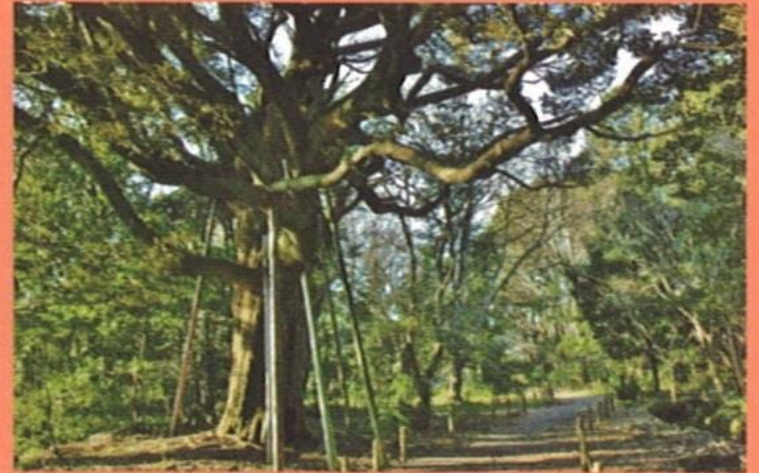
市指定保存樹 (ケヤキ／ニレ科)

大 き さ 幹周783cm 樹高33m

県 1 位 推定樹齢800年

所 在 地 金沢市野町2丁目1-8 神明宮

見どころ 境内中央にあって見事な樹冠が地内を覆っている。市保存樹第1号で、一時衰弱の感があったが、車による踏圧防止策や支柱並びに折損部の外科治療などを施し樹勢維持に努めている。



⑥⑩ 金沢城公園の巨樹群

所 在 地 金沢市丸の内1-1 金沢城公園

見どころ 面積約30ha、標高30～60mに位置し、市内の中心部で自然林が最も多く残っている。特に宮守坂周辺には、スダジイ、タブノキ、ヤブツバキなどが多い。巨樹としては、旧植物園に樹齢300年をこえるというモミ、タブノキ、ヤブツバキ、ウラジログシ、その他にモチノキ、エノキ、ケヤキ等がある。

金沢市内の巨樹紹介



⑥1 折鶴の松

市指定保存樹 (アカマツ／マツ科)

大 き さ 幹周350cm 樹高15m

所 在 地 金沢市橋場町2-17 大樋方

見どころ 加賀藩の名医森海南の住んだ屋敷で、松はその形から折鶴の松と名付けられている。樹冠に淡雪をのせた時が特に美しい。



⑥2 松月寺のサクラ

国指定天然記念物

(ヤマザクラ／バラ科)

大 き さ 幹周781cm 樹高 8 m

所 在 地 金沢市寺町5丁目22 松月寺

見どころ ヤマザクラの一種で「ショウゲツジザクラ」と呼ばれる。葉が広く、花梗には毛がなく、花は白地に紅白を帯び、花径約5cmある。藩主前田利常が小松城にあったものを二世住職に与え、植えられたといわれ、松月寺の大桜、御殿桜とも呼ばれている。

金沢市内の巨樹紹介



⑥③ 本多の森

(ケヤキ/ニレ科)

大 き さ 幹周808cm (512cm)

樹高23m

所 在 地 金沢市出羽町3-1

歴史博物館前

見どころ この森は、本多町を中心とする森林で、スダジィ、タブノキを主木とする照葉樹林である。特に、犀川、浅野川の河岸段丘斜面によって、周辺の山林と通じており、動物も移動できる多様性に富む森林である。巨樹として、ケヤキ、スダジィ等がある。



⑥④ 尾山神社樹林

市指定保存樹林

所 在 地 金沢市尾山町11-1

尾山神社

見どころ 市の中心部にあって、社叢は金沢城公園の森に隣接している。神社には初代藩主前田利家公とその正室おまつの方を祀っている。拝殿の右奥には市指定名勝の神苑（築山池泉廻遊式庭園）がある。社叢林の中で最大の巨樹はスダジィであるが、これは神苑の更に奥、合同庁舎側の土手にある。

金沢市内の巨樹紹介



⑥5 八幡神社のケヤキ

市指定保存樹 (ケヤキ/ニレ科)

大 き さ 幹周510cm 樹高30m

所 在 地 金沢市十一屋町3-32

八幡神社

見どころ 犀川左岸の河岸段丘に位置する。広くはない境内に最大値のものを含めて2本、境内に接したすぐ外側に2本のケヤキの巨樹がある。茸類の樹皮への付着は見られず、樹勢は旺盛と見える。神社の裏に立つと、犀川を越えてその先に金沢市内の街並みが一望できる。



⑥6 板ヶ谷町八幡神社スギ

市指定天然記念物 (スギ/ヒノキ)

大 き さ 幹周1165cm 樹高42m

所 在 地 金沢市板ヶ谷町イ129

八幡神社

見どころ 富山県境に近い刀利ダムにいく途中、左側の高台に八幡神社がある。八幡スギとも呼ばれ、五株立ちの元締めのように幹周は県1位と大きい。

金沢市内の巨樹紹介



⑥⑦ 大野湊神社社叢

市指定天然記念物

所在地 金沢市寺中町ハ163

大野湊神社

見どころ 海岸に近いタブ林であるが、
今はケヤキの大木が多い。
神社は寺中の神事能で知られて
いる古社である。

金沢市内の巨樹紹介



石川県巨樹の会 @ikyojyunokai · 11月8日

兼六園下交差点近くの立派なクロマツは、約600m先の橋場町にありましたが、マンション建設時に伐採計画もあった市保存樹です。当会会員の樹木医が診断し移植を決断。令和2年10月30日の深夜、トレーラーで運搬しこの地に根付きました。巨樹を守る活動をしています。

#巨樹



不破医院の松



金沢市指定保存樹

指定年月日 平成4年3月31日

クロマツ/マツ科

大きさ 幹周 200cm 樹高 12m 枝巾 9m

住 所 金沢市橋場町2-15(不破医院内)

森からはじまる金沢のミライ

「森からはじまる金沢のミライ」の実現に向けて

基本理念	将来像	施策の方向性	プロジェクト・テーマ
古くて新しい金沢スタイルの発見（金沢ミライシナリオの実現に向けて） 森からはじまる金沢のミライ	森と共生する金沢	森が森であることを 守る	いのちの森プロジェクト グリーンインフラとして 森を整備する
	木の文化都市・金沢	森の恵みを 活用する	くらしの森プロジェクト 森と木のある ライフスタイルを応援する
	森の感性が 息づく金沢	森をたのしみ、 森にまなぶ	巨樹巡り 森が身近になる 「森の博物館」を創出する

ネットワークをつなぐ



考えるべき3つのこと

コアづくりを考える

場所づくりを考える

人材づくりを考える

ー 森林環境譲与税を活用した取り組みの提案 ー

具体的な取り組み例

- 森の多面的機能を十分に発揮させるために森の見取り図（森林ゾーニング）の長期的な検討
- 荒廃した森林を再生することによって、水源かん養・防災機能・減災効果等を安定的に発揮
- 木材生産林、里山林、広葉樹林、海岸松林、野生動物植物の保全林（クマ止め林含む）等の多様性のある森林整備を推進
- 生きものと共生する森の復元など「森林再生」のシンボルとなる事業を展開
- 木材利用を視野に入れた有用樹の植林と育成、木材認証制度の導入、森林資源量の把握等
- 主伐、再造林による持続可能な森のサイクルを確立
- 森林整備の担い手確保のため、林業大学校専門コースを拡充（年間1,200時間）

- 木を活用した市民の「ものがたりづくり」を応援・発信する
 - ① 小学校の児童机の天板を金沢産材で作り、6年間の思い出として卒業時に子どもたちに渡す
 - ② 幼い子どもに親が手作りの木のおもちゃを作って贈る
- 森林ローカルベンチャーの発掘・育成、自伐型林業など新しい林業への挑戦を支援（※プロポーザルによる公募方式を検討）
- 木材需給体制の充実と製材所などの木材加工・流通業との連携による金沢産材活用促進
- トレーサビリティが確認できる金沢産材活用製品や特産林産物を「かなざわ」の名称を付けて公式にブランド化を図る

- それぞれのライフステージに必要な森林を「森の博物館」として、いつでも体感できる機会や場所を検討し、市民に提供する
 - 森：自然と出会い、森の感性を育む（園児～小学校低学年）
 - 森：自然を探究し、森の知的感性を育む（小学校高学年～大学生）
 - 森：自然の森を体感し、自らの森の感性を再発見する（大人および共通）
- 広い視野を持つ「森のプロフェッショナル」として、森林について学ぶ新しい学校等を検討（保育士・教師等への研修、森林インストラクター等、林業の枠にとられない森林教育機関）
- 森と木の文化を体験する、巨樹巡り、山村集落インターンシップ、森の食材の試食等を実施する

- 森林再生課・金沢市森づくり市民会議・金沢森林組合・林業振興協議会等の既存組織の活用や改変
- ワーキンググループ・運営委員会・NPO法人等の新組織の設立
- 森林活動ボランティア団体の発展に向けた支援

- 百年後に都市の風格を向上させる中心市街地でのセントラルフォレストの創出
- 空き公共施設や中山間集落の空き家などのリノベーションやコンバージョンによる活用
- 埋立場など公共用地の積極的な緑化による森林再生
- 「木の文化都市・金沢」でのシンボルとなる木質建築

- 中山間集落の地域コミュニティ再生・活性化（新規林業従事者の定住促進、森の暮らしの伝承等）
- ソーシャルネットワークを活用した情報発信や市民参画
- 産官学協力、芸術・スポーツ・音楽など異分野との交流

外国の自然観察教育を1つ紹介します

古くからイギリスでよくする厄除けのおまじない

タッチウッド(Touchwood)

災いを避けるために願いを込めて
「タッチウッド」と言いながら木のものを触ります。

- ・大木に触れる
- ・木製ペンダント・キーホルダーなどに触れる

※森の自然体験教育

イギリス自然環境研究会議(NERC)

実験や体験を通して親子で環境科学を学ぶ
(2018年2月)

巨樹と語ろう

ご清聴ありがとうございました